取扱説明書

06008B

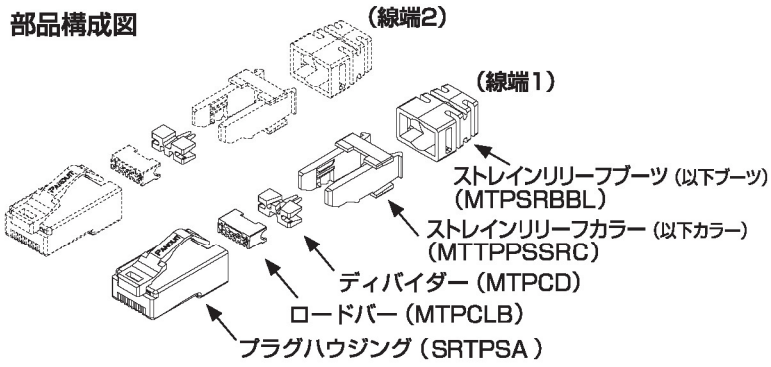
TX6 PLUS　シールド付モジュラープラグ

Part Numbers: SPS688

©Panduit Corporation Japan Branch

取扱説明

部品構成図

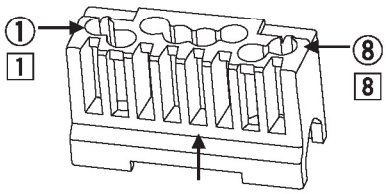


■成端仕様:

- 外被覆の外径は 5.72～6.35Φmm 以下
- 導線径は 0.4～0.51Φmm (26～24AWG)
- 導線絶縁径は 0.889～1.016Φmm
- コンタクトは単線または導体より心線の成端が可能
- T568A及びT568B結線の成端が可能
- MPT5－8工具を使用して一括圧接

ロードバー

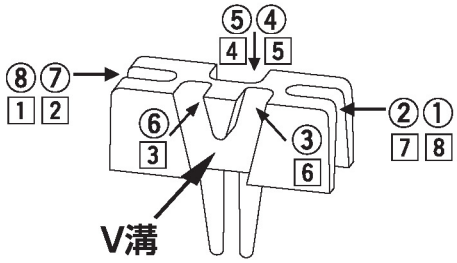
挿入時の向きに注意して下さい



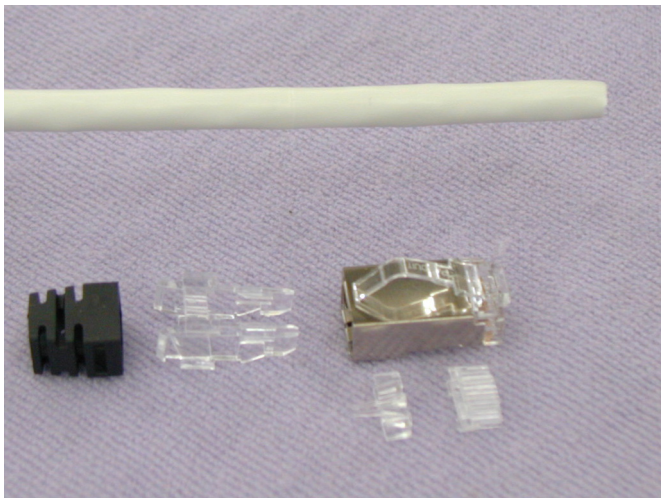
コンタクトが貫通する8個の溝

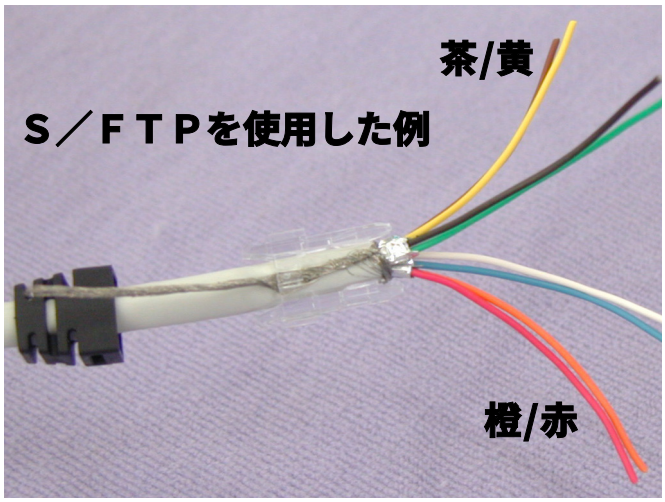
ディバイダー

V溝とコンタクト番号の位置を確認して下さい



成端手順





ブーツを挿入し外被覆を４０mmほどむいて、シールド部の前処理を行い編組シールド線に図のようにカラーを挿入します
ホイルシールドを外被覆の根元から３mmほど残し、各対のホイルを切り取ります
成端はＴ５６８Ｂを例にして示します（橙対が手前で対角対が茶対となります）
ディバイダーとロードバーの使い方はＳＰ６８８の取扱説明を参照してください

版	制 定	作 成	承 認
02	2006 年 9 月 6 日	山之内	新 田

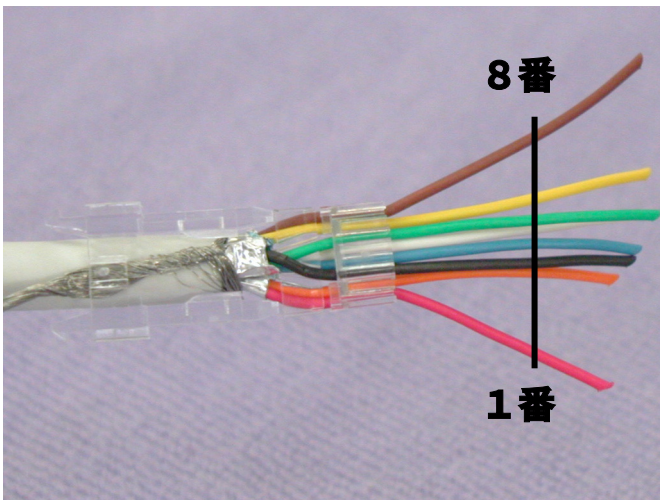
取扱説明書

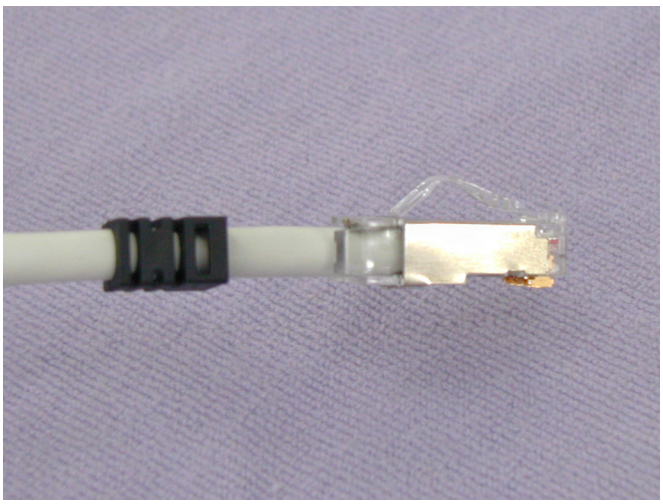
TX6 PLUS　シールド付モジュラープラグ

Part Numbers: SPS688

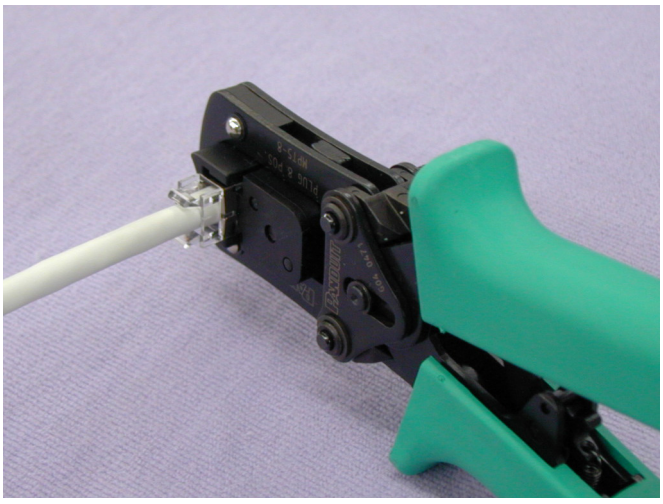
©Panduit Corporation Japan Branch

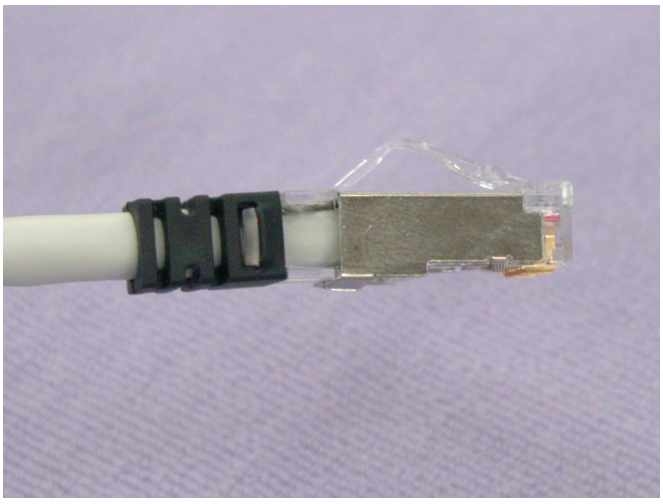
S／ＦＴＰコード（一例）を使用したモジュラープラグ成端の色対コード表								
コンタクト番号	1	2	3	4	5	6	7	8
Ｔ５６８Ａ	黒	緑	赤	青	白	橙	黄	茶
Ｔ５６８Ｂ	赤	橙	黒	青	白	緑	黄	茶





ディバイダーにＴ５６８Ｂ結線でより分けし、ロードバーを挿入します
カラーをディバイダーと連結するように引き寄せます（編組シールド線が緩まないようにします）
余分な導線を切り取り、ハウジングを挿入します（必要に応じてＣＳＰＴで挿入力の補助をします）





ＭＰＴ５－８の工具で圧接し、編組シールド線を切り揃えてからブーツを引き寄せ装着します

©Panduit Corporation Japan Branch

注意事項:

1. プラグ成端は 24～26AWG で単線及び導体より心線を使用できます。
   導体絶縁体は一般 PVC またはプレナムグレードで外径は 1mm 以下。
2. 指定サイズより大きい導体をハウジングに挿入しないでください。

全てのワイヤリングアクセサリと同様に、下記の概念に従ってください。

1. 雷や嵐の中では通信ケーブルの施工は行わない。
2. 特に水場で使用できるように設計されたコネクタを除き、濡れた場所での通信ケーブルの施工は行わない。
3. 通信ラインがネットワークインターフェースから切り離されている時以外は、導線や端子を手で触れない。
4. 通信ケーブルの施工や修理の際には警告文を良く読み、行ってください。

技術のお問い合わせ◆
パンドウイット ネットワーク製品グループ

http://www.panduit.co.jp/

E-mail:jpn-info-d@panduit.com
FAX:03-5762-7736
TEL:03-3767-7013

©Panduit Corporation Japan Branch

改版履歴

版数	改版日	変更内容	担当
01	2006.08.30	初版制定	山之内
02	2006.09.06	S/UTP を S/FTP に訂正	山之内